

1 塗装メンテナンスで耐久性アップ

屋根や外壁の塗り替えは家の美観を保つことだけが目的ではありません。建物の屋根や壁などの建材は塗装の皮膜によって守られており、その皮膜にも寿命があるので定期的な塗り替えの必要があるのです。塗り替えのサインを見逃さずにメンテナンスすれば建物の耐久性は大幅にアップするのです。



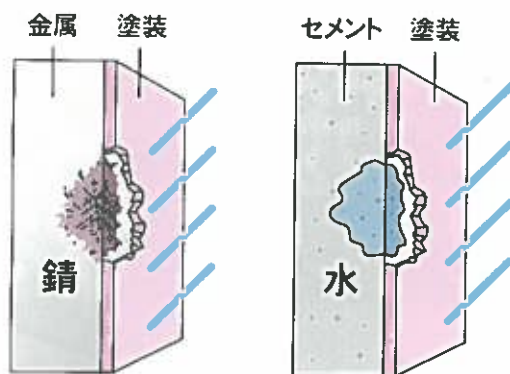
理由5

塗装をすると家の劣化を防ぎ、建物が長持ちします

塗り替えは住まいの長寿の秘訣です

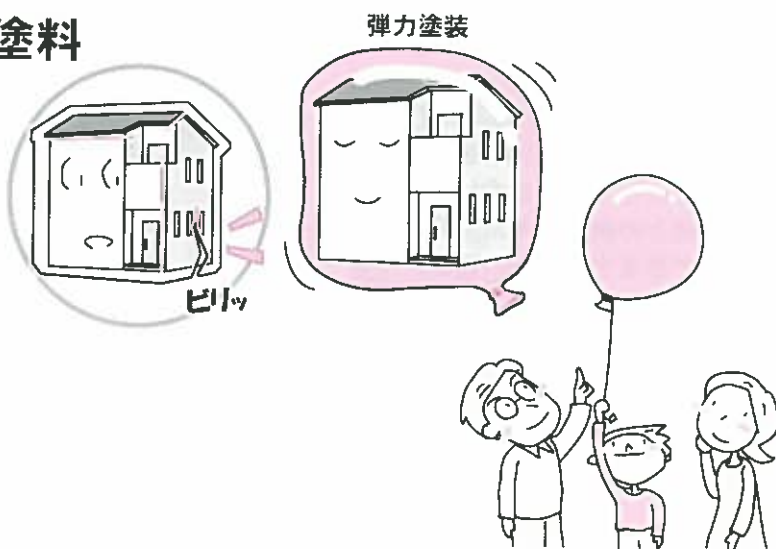
2 塗装が持つ雨漏り防止効果

新築する時に使われる外壁や屋根の材料は、すでに塗装されたものを使いますが、年月の経過とともに塗装膜が少しずつ劣化していきます。塗装膜が劣化すると、下地が金属だと錆び、セメントだと水がしみこむなどの問題につながり、ついには雨漏りに発展することもあるのです。家の耐久性を弱める雨漏りを防ぐことが長持ち住宅のポイントです。



3 ひび割れしない弾力塗料

塗装した塗料がひび割れして水が浸入すると住まいを劣化させてしまいます。弾性力を持ったひび割れしにくいタイプの塗料を使えばゴムのように伸びて建物や壁の伸縮にある程度対応するので、家の寿命を長持ちさせる効果が期待できます。また、塗装の下塗りを厚く塗ることで効果をさらに高めることができます。



知っておきたい豆知識



白い粉がついたときが塗り替え時

塗装膜にとっての大敵は太陽の紫外線です。紫外線が塗料に入っているカルシウム成分を分解してゆくのです。家の壁や道路のガードレールなどをさわったときに、白い粉が手についたことがありますか。この現象を「チョーキング」といい、この白い粉の正体が紫外線で分解された塗膜なのです。塗膜が劣化して、手に白い粉がつくようになります。塗り替え時のサインです。